

「徳島県認知症施策推進計画（素案）」に係るパブリックコメント実施結果について

令和7年10月8日（水）から令和7年11月10日（月）までの間、「徳島県認知症施策推進計画（素案）」に対するご意見を募集した結果、4名の方から4件のご意見をいただきました。いただきましたご意見と県の考え方は、次のとおりです。

| 番号 | ご意見の要旨 | ご意見に対する県の考え方 |
|----|---|--|
| 1 | <p>第4章の計画の取組方針と基本的施策について各項目について今後の取組に関して的確かつ詳しく記載されていると思いますが、P44の（2）認知症の人や家族等の交流活動に対する支援についての（今後の取組）について目的は記載あるが手段の記載がないので、県ではどのような支援に努めるのか具体的に記載していただきたい。</p> <p>自分自身いくつかの「認知症カフェ」に参加させていただいたこともありますが、携わっている方はボランティアで一生懸命されていますが、認知症本人や介護家族者ひいては地域住民への理解促進には大変ご苦労されていました。そのあたりもご考慮いただき、どのような支援を行うのか具体的かつ支援可能なことを記載いただき、「認知症カフェ」に係る人がモチベーションあがるようなことをしていただきたいです。</p> | <p>認知症カフェは、認知症の人やその家族が専門職等の関係機関とつながり相談できるのみならず、認知症の人や家族同士で情報交換ができる他、地域住民との交流の場にもなる重要な社会資源です。</p> <p>認知症の人や家族等からの意見聴取においても、「当事者の集まりなど、定期的に出かける用事があるだけで違う。生きがいになる」、「家族同士、同じ悩みを持つ仲間とつながることができる場所があるといい」等のご意見があつたことから、本計画においても、設置及び継続開催に向けた支援に努めることとしており、評価指標（KPI）において、市町村や関係機関に働きかけることにより、令和11年度には90箇所の設置を目指すこととしてあります。</p> <p>いただきましたご意見も踏まえ、計画を実施するにあたっては、認知症の人やその家族、また認知症カフェ運営者の現場をお声をお聴きしながら、本県の認知症カフェの設置促進が図られるよう施策を進めて参ります。</p> |
| 2 | <p>最近、テレビでMCIという言葉を聞くことがあります。</p> <p>認知症の予防には、認知症になる前のMCIの時期など、早めから取り組むのがよいそうです。</p> <p>私も高齢者ですが、パソコンなど新しいことに積極的にチャレンジしたり、ウォーキングや腕立て伏せなどの運動を毎日して、元気でいるように頑張っています。</p> <p>そういう早くからの予防の大切さについても周知していってはどうでしょうか。</p> | <p>本計画では、全ての県民が希望に応じた認知症の予防や健康づくりに取り組むことができるよう、重点戦略の1つとして「認知症の予防と健康づくり」を設定しております。</p> <p>ご意見のとおり、MCI（軽度認知障害）については、早い段階で気づき、生活習慣を改善することで、認知機能の低下を緩やかにしたり、状態を改善できる可能性があるとされております。</p> <p>いただきましたご意見を踏まえ、「新しい認知症観」に立った科学的知見に基づく認知症予防について広く啓発して参ります。</p> |
| 3 | <p>計画（素案）は、「新しい認知症観」に基づき、認知症の人が希望を持って地域で暮らし続けられる社会の実現を掲げており、家族としても共感できる内容です。特に、本人の意思を尊重する姿勢や、チームオレンジ・認知症カフェなど地域ぐるみの支援体制づくりは心強く感じます。</p> <p>一方、計画（素案）にどこまで記載するべきか判断しかねますが、チームオレンジや認知症カフェは、どこで活動しているのか、どこに相談すればよいのかが分かりにくく感じます。また、県西部では活動している団体が限られており、支援に繋がりにくい状況もありますので、地域差なく支援の輪が広がることを期待します。</p> | <p>「認知症カフェ」や「チームオレンジ」は、共生社会とくしまの実現のために重要な取組であるため、本計画において「認知症カフェ」の増加及び「チームオレンジ」の県内全市町村への設置を評価指標とし、認知症の人への支援体制強化を進めていくこととしております。</p> <p>いただきましたご意見を踏まえ、引き続き、関係機関とも連携しながら、わかりやすい周知・啓発に取り組んで参ります。</p> |
| 4 | <p>タバコ対策が認知症予防の要のひとつとして重要です。</p> <p>認知症は誰もがなり得ることでしょうし、皆が認知症に対する理解を深めることにより、認知症のある人やその家族等が良い環境で自分らしく暮らし続けることができるよう、認知症があつてもなくとも、同じ社会の一員として地域とともに創っていくことが必要です。</p> <p>ただ生活習慣の改善により、認知症の予防は可能で、そのエビデンスが多く集積されてきています。</p> <p>12ページの「(2)認知症の予防と健康づくり」には、「運動習慣や適切な栄養、社会参加に関連するフレイル予防や、糖尿病や高血圧改善等の生活習慣病の予防は、認知症予防に資する可能性があると示唆されています。」と明記されています。</p> <p>この「認知症の危険因子、防御因子」については列記ではなく、例えばタバコ対策について、エビデンスを明示し、他の健康増進・推進計画との連携の重要性に触れていただくのが良いように思います。</p> | <p>本計画では、全ての県民が希望に応じた認知症の予防や健康づくりに取り組むことができるよう、重点戦略の1つとして「認知症の予防と健康づくり」を設定しております。</p> <p>また、受動喫煙防止による健康への影響を防ぐことや、「喫煙をやめたい」と思っている人への禁煙支援については、多くの疾患の発症予防や重症化予防、ひいては県民の健康寿命の延伸にとって重要であることから、徳島県健康増進計画「健康徳島21（第三次）」においても、啓発や禁煙支援医療機関等の情報提供により、一層の禁煙推進に取り組むこととしております。</p> <p>いただきましたご意見を踏まえ、関連する他計画等とも連携しつつ、取組を進めて参ります。</p> |